

2020年1月の
国内向け／輸出向け出荷の動向
図表集

2020年3月9日

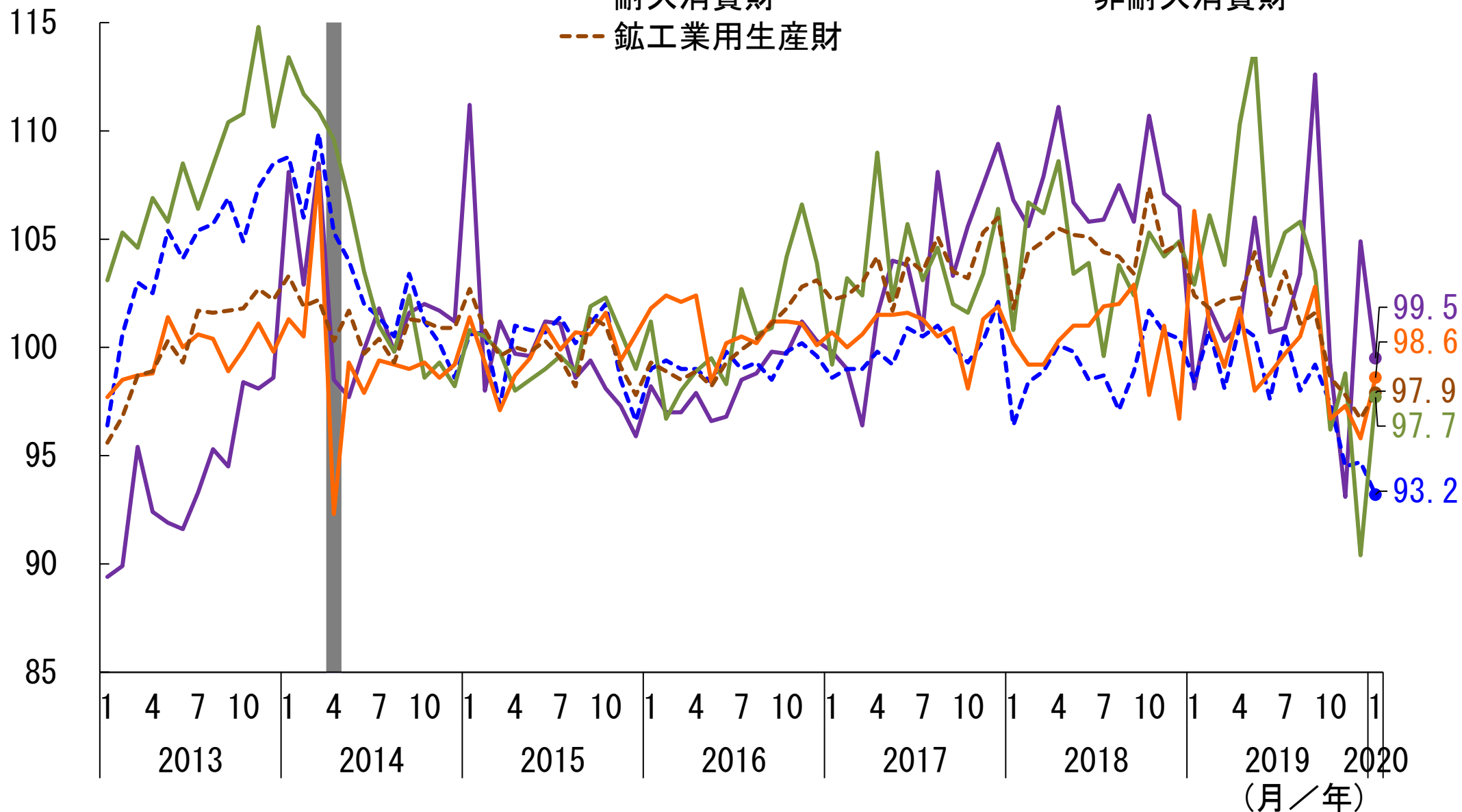
経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

- 資本財(除. 輸送機械)
- 耐久消費財
- - 鉱工業用生産財
- - 建設財
- 非耐久消費財



(注) 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

2020年1月の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

月次	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前月比	96.9 0.2%	95.9 -0.2%	96.6 -0.7%
指数水準	2019.10 98.1以来 I 2014.3 105.7 II 2017.12 105.4 III 2014.1, 2018.4, 10 104.4	2016.5 95.8以来 ①2013.2 90.9 ②2013.1 92.7 ③2014.1 93.6	2019.11 96.5以来 ①2019.10 96.4 ②2019.11 96.5 ③2020.1 96.6
前月比の動き	2か月連続+ (2019.12~当月)	3か月連続- (2019.11~当月)	3か月ぶり- (2019.10以来)
前月比幅	2019.12 0.3%以来 I 2015.1 3.1% II 2017.11 3.0% III 2019.7 2.7%	2019.12 -0.4%以来 ①2015.2 -8.7% ②2017.1 -8.1% ③2019.1 -7.4%	2019.10 -6.5%以来 ①2014.4 -7.6% ②2019.10 -6.5% ③2018.1 -5.9%

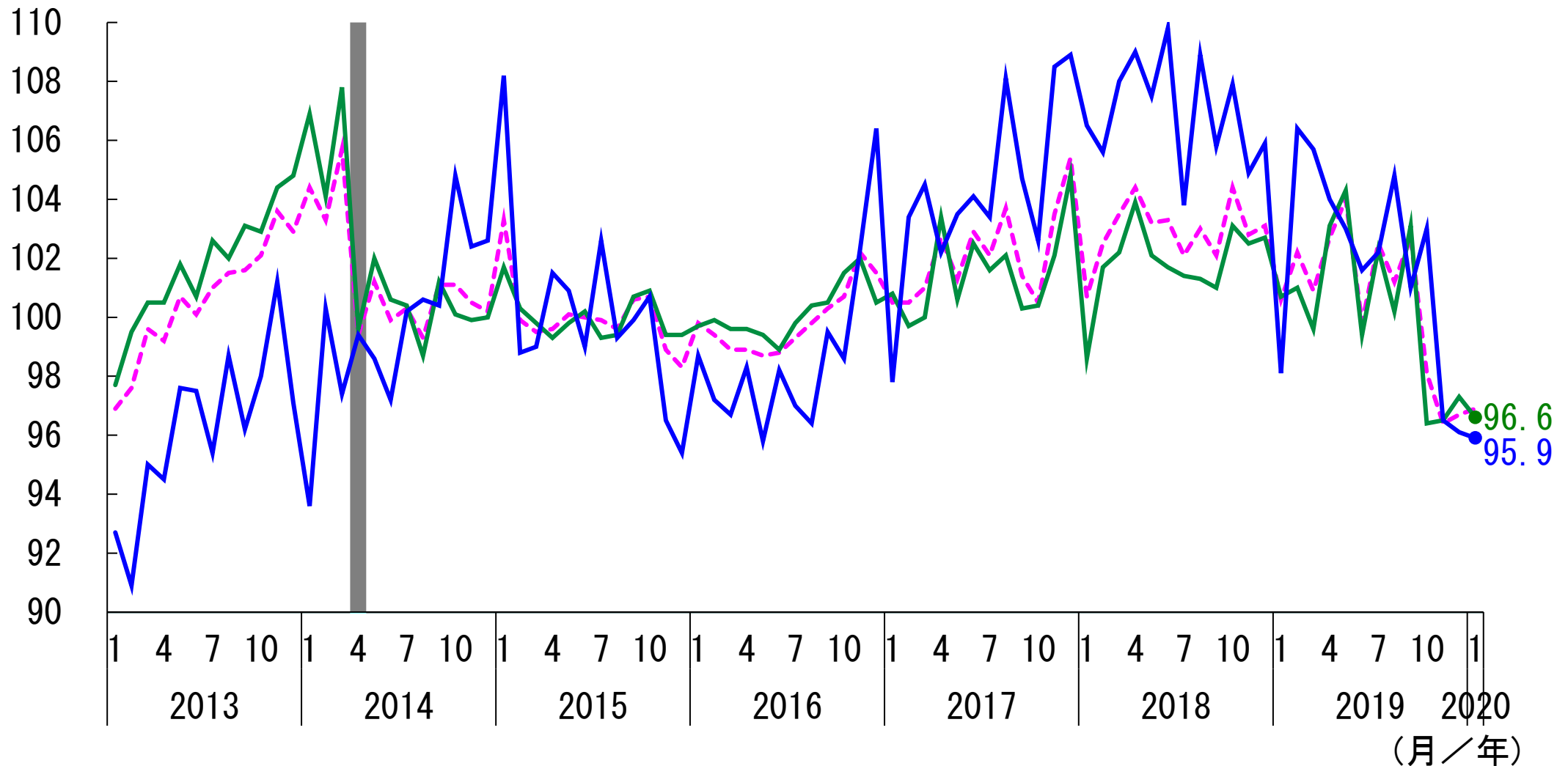
1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

国内向け／輸出向け出荷の動向

・2020年1月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは96.6(前月比-0.7%)と3か月ぶりの低下、輸出向けは95.9(前月比-0.2%)と3か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

--- 鉱工業出荷 — 国内向け — 輸出向け

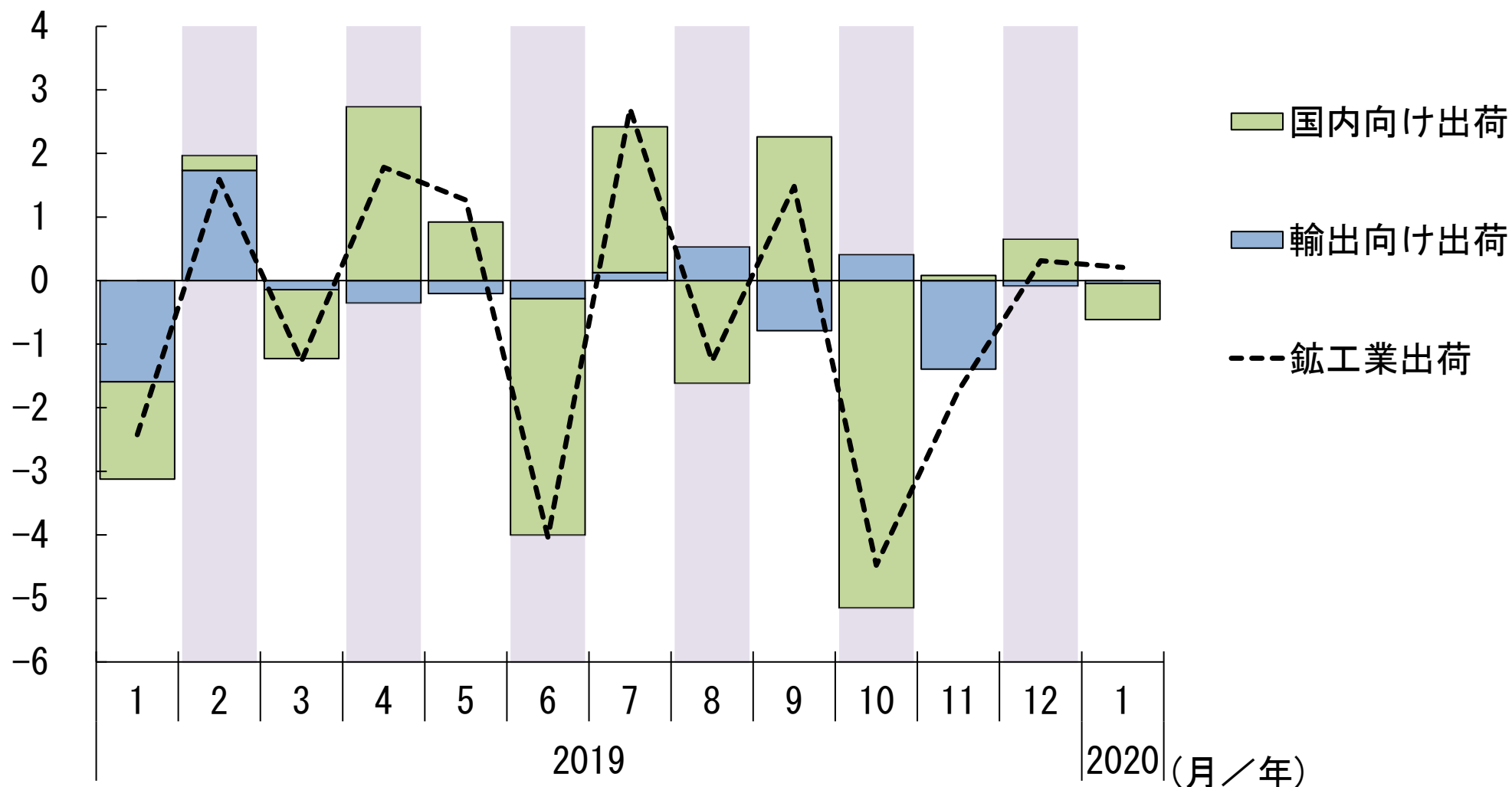


(注) 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

鉍工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

・2020年1月の鉍工業出荷は、前月比0.2%の上昇。国内向け、輸出向けともに低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

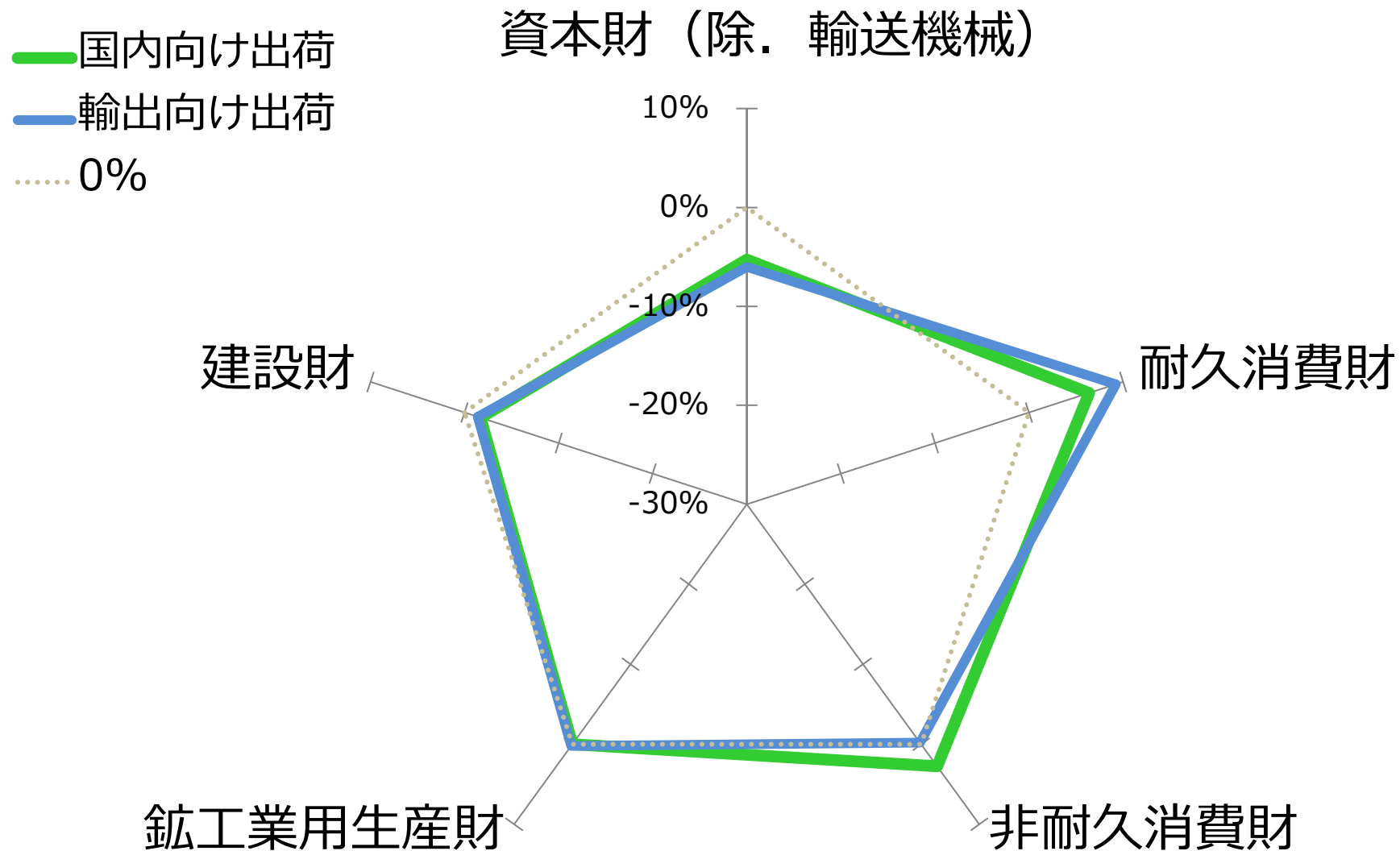


主要業種、財の出荷前月比 国内／輸出向け出荷の影響度合い

業種別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉄鋼・非鉄金属工業	0.5	-1.60	1.68
生産用機械工業	-3.1	-0.10	-3.85
汎用・業務用機械工業	-4.4	-5.40	1.14
電気・情報通信機械工業	0.2	-0.34	-0.05
輸送機械工業	4.5	0.13	3.15
化学工業(除. 医薬品)	-1.7	0.65	-2.71

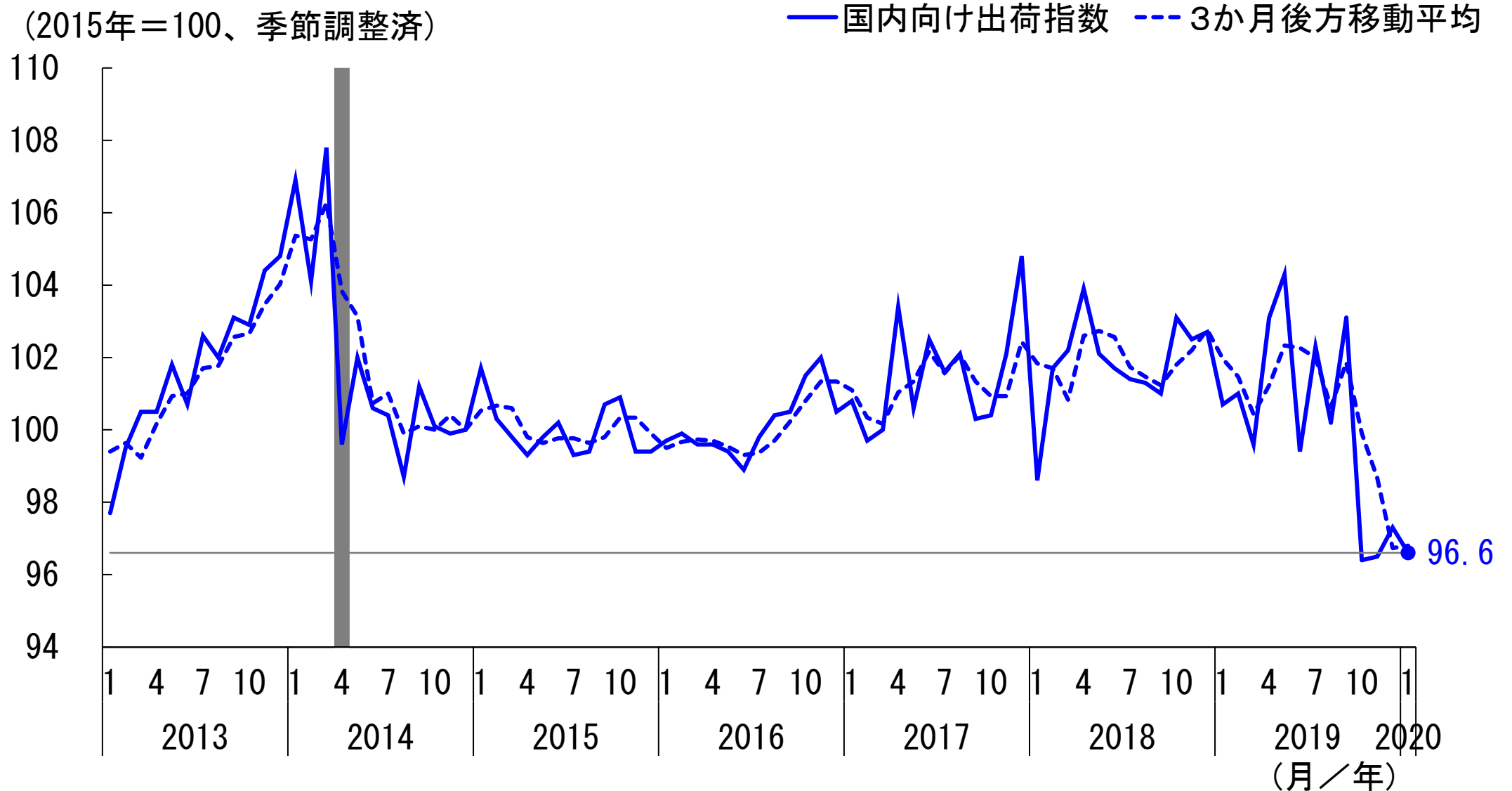
財別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	1.2	0.00	0.05
資本財(除. 輸送機械)	-5.1	-3.53	-2.01
建設財	-1.6	-1.58	-0.09
耐久消費財	8.1	4.82	2.27
非耐久消費財	2.9	2.64	-0.01

国内向け／輸出向け財別出荷指数前月比比較(2020年1月)



国内向け出荷指数の動向

・ 2020年1月の国内向け出荷指数は96.6(前月比-0.7%)と3か月ぶりの低下。

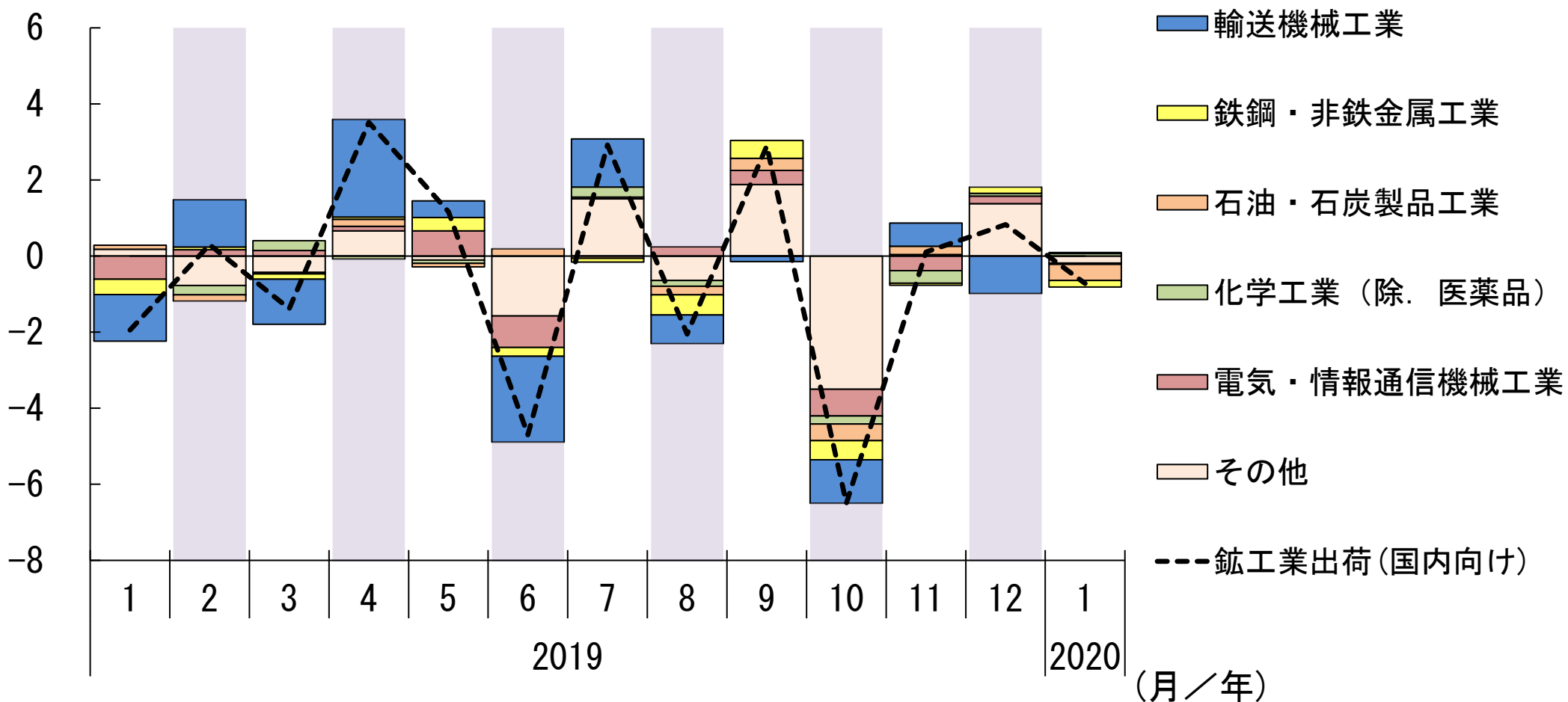


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2020年1月の国内向け出荷を主要業種別にみると、化学工業（除. 医薬品）などが上昇したものの、石油・石炭製品工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



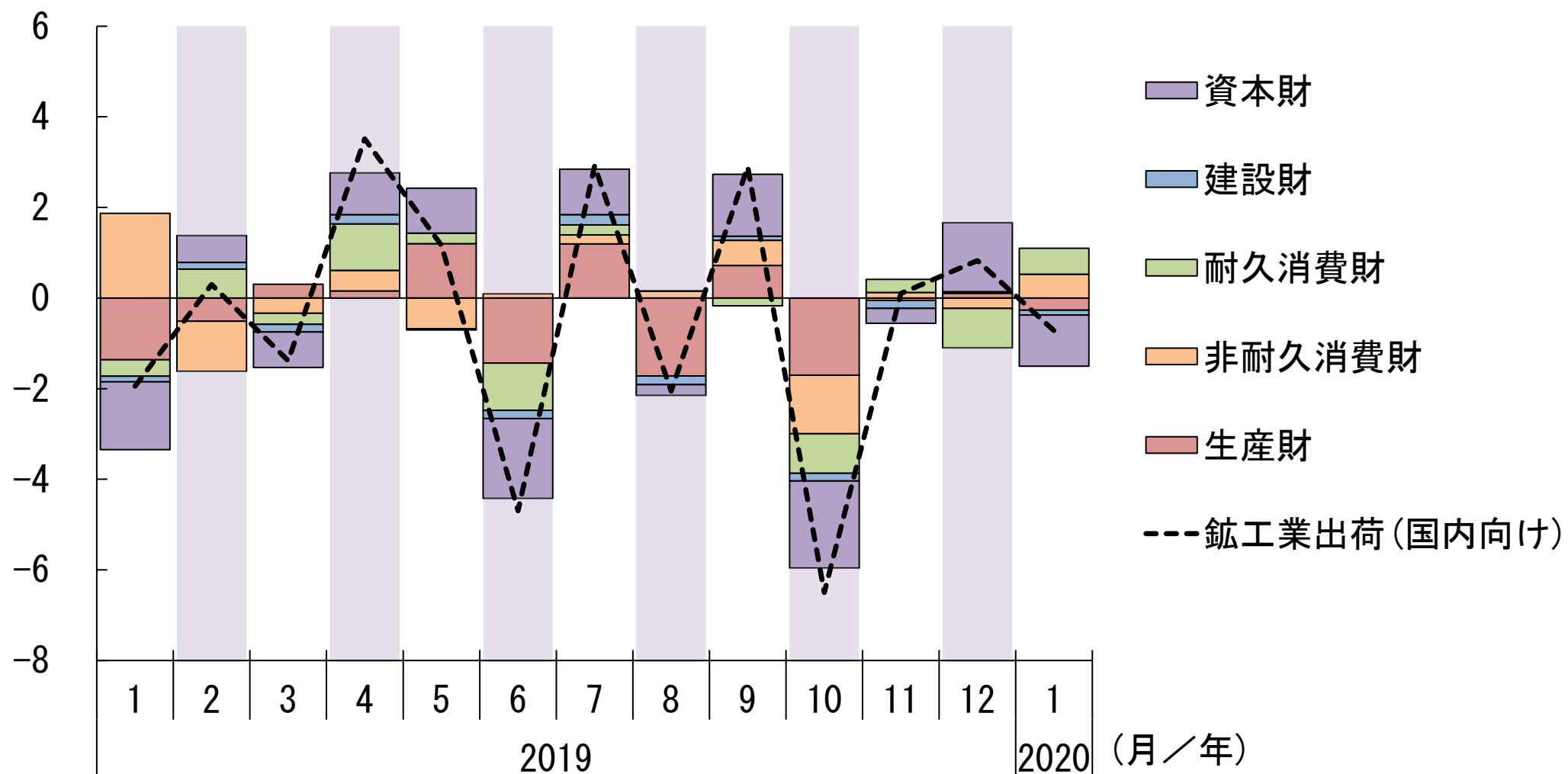
(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。

具体的には、運輸機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2020年1月の国内向け出荷を財別にみると、耐久消費財などが上昇したものの、資本財などが低下。

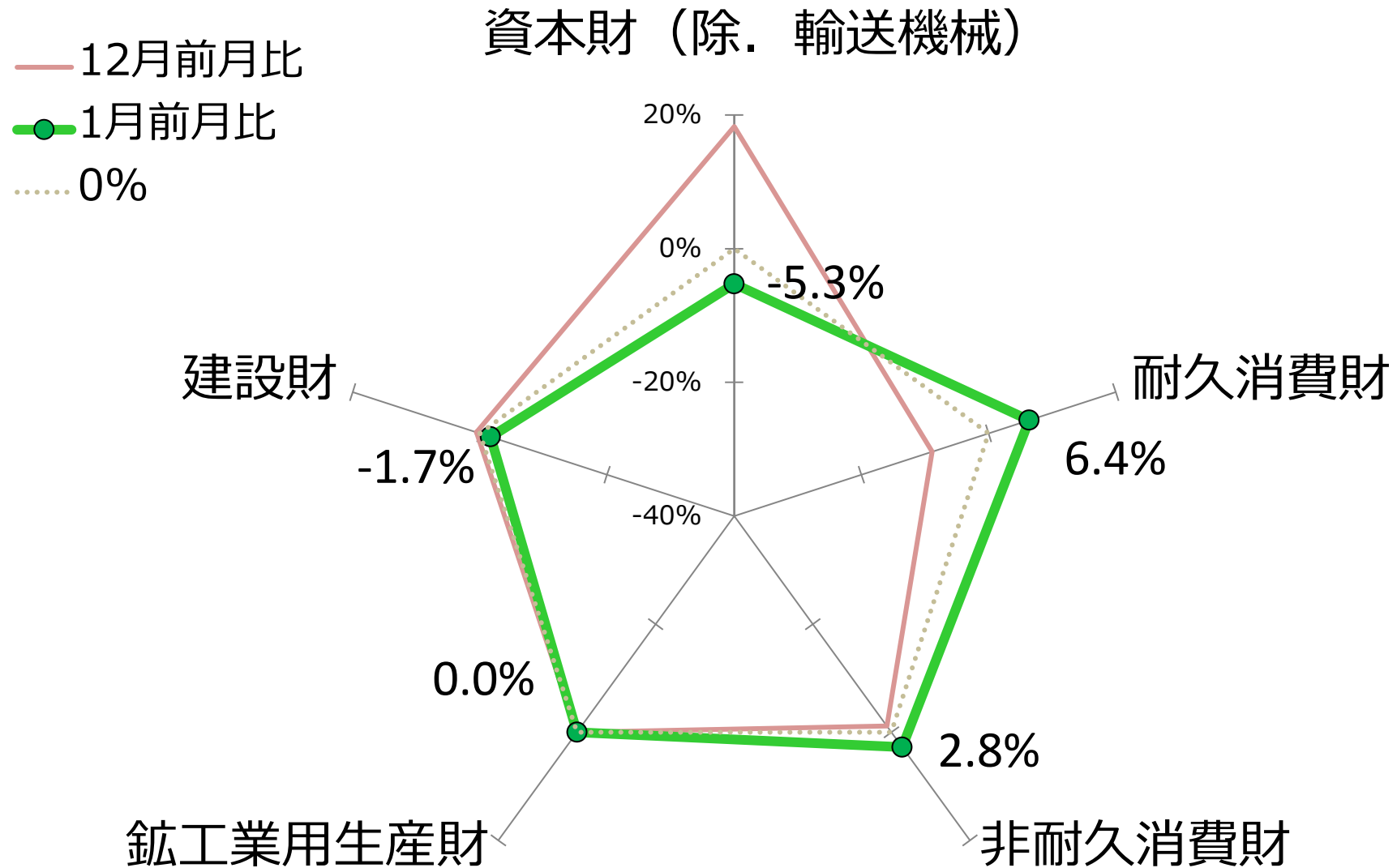
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2020年1月の国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

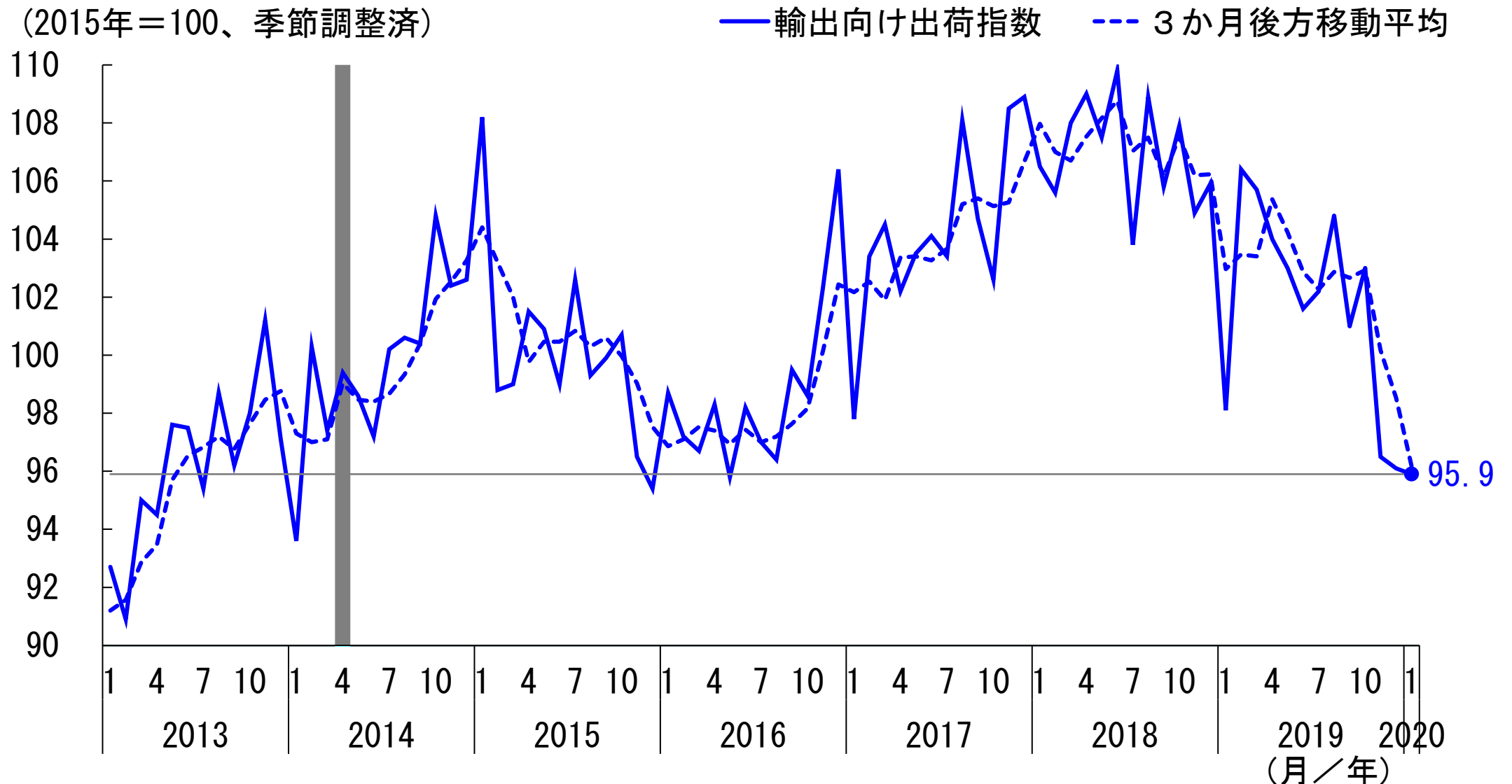
財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	-0.7	-
資本財(除. 輸送機械)	-5.3	-0.56
その他用生産財	-2.9	-0.24
建設財	-1.7	-0.11
鉱工業用生産財	0.0	0.00
非耐久消費財	2.8	0.53
耐久消費財	6.4	0.57

国内向け財別出荷指数前月比の比較 (2019年12月、2020年1月)



輸出向け出荷指数の動向

・ 2020年1月の輸出向け出荷指数は95.9 (前月比-0.2%) と3か月連続の低下。

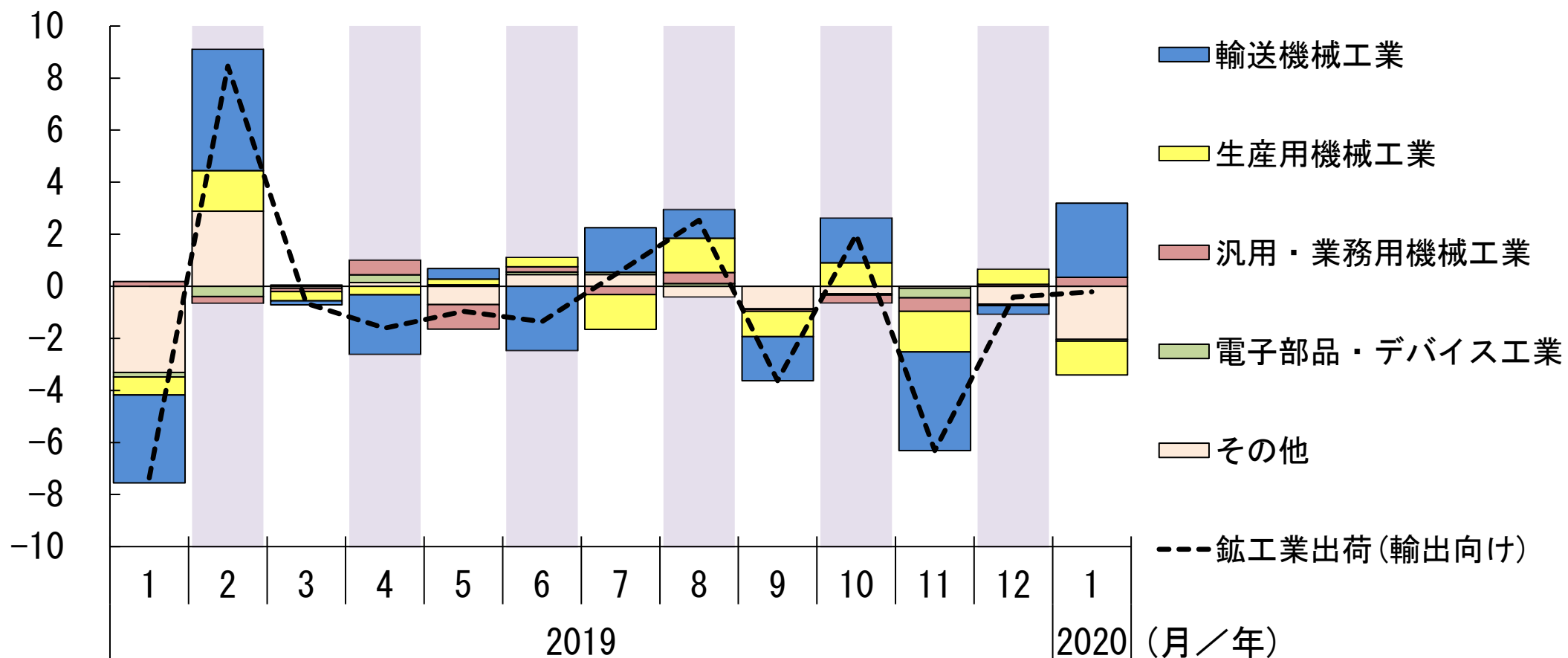


(注) 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

輸出向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2020年1月の輸出向け出荷を主要業種別にみると、輸送機械工業などが上昇したものの、生産用機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

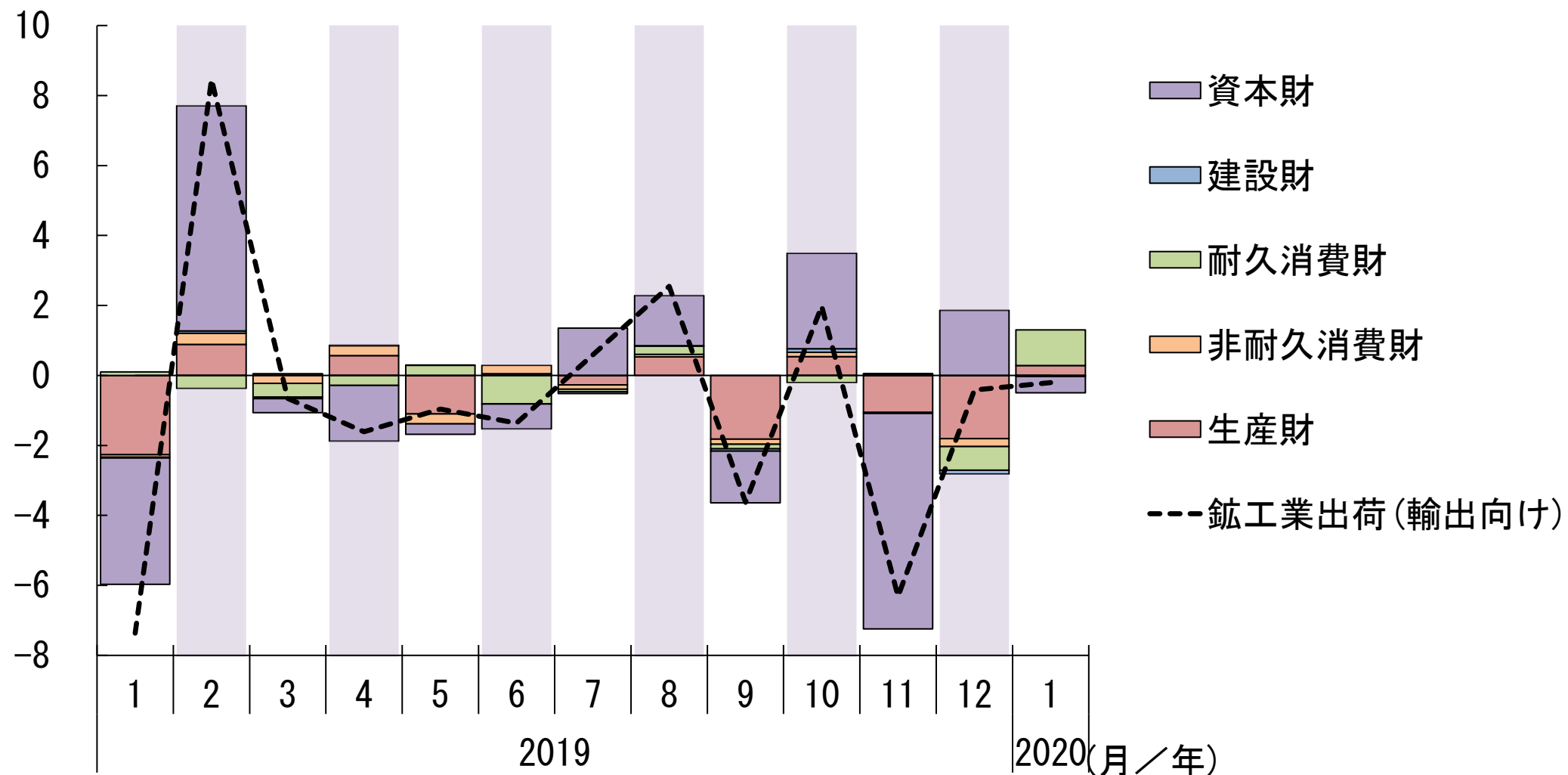


(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2020年1月の輸出向け出荷を財別にみると、耐久消費財などが上昇したものの、資本財などが低下。

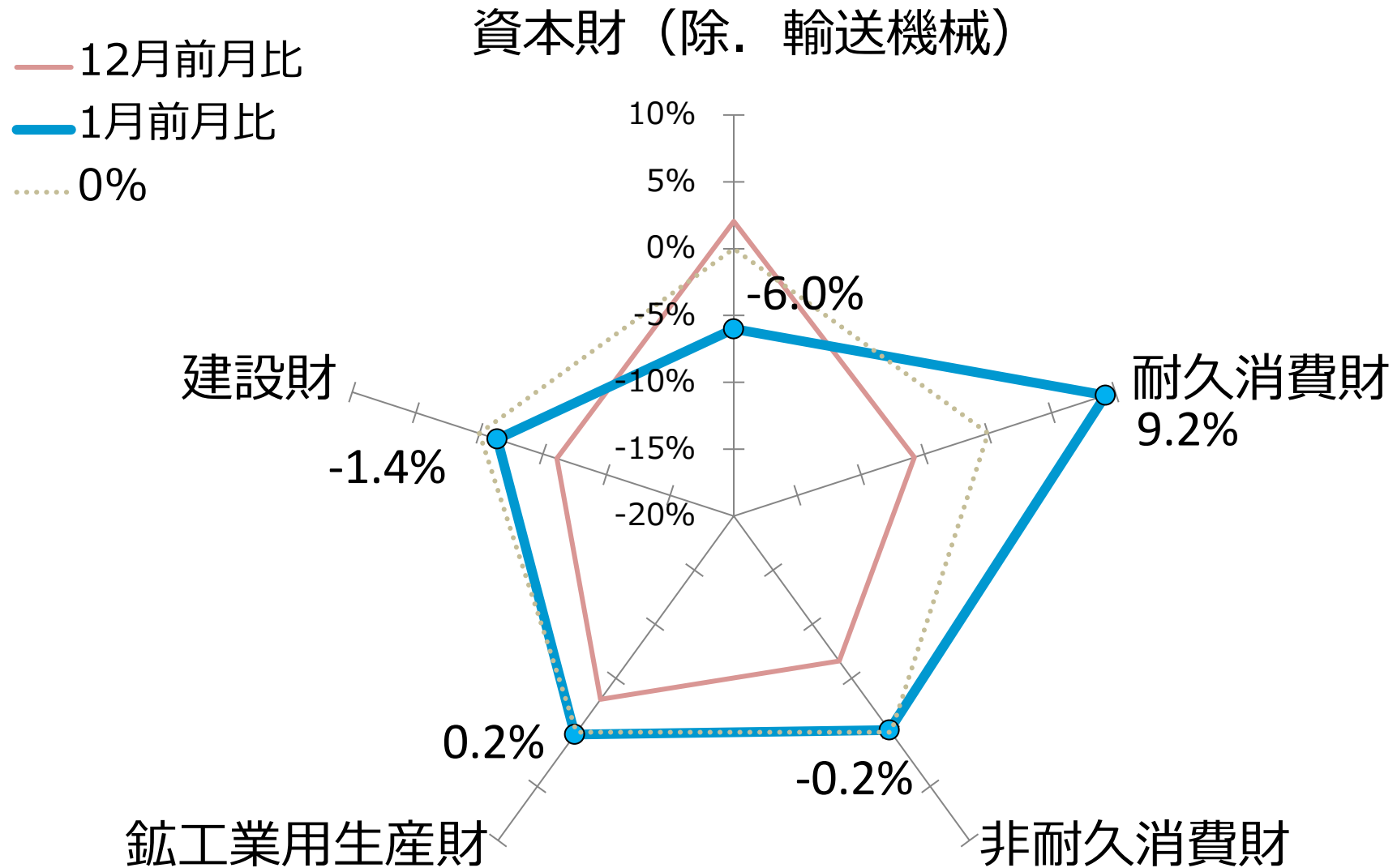
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2020年1月の輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	-0.2	-
資本財(除. 輸送機械)	-6.0	-1.20
建設財	-1.4	-0.02
非耐久消費財	-0.2	-0.01
鉱工業用生産財	0.2	0.11
その他用生産財	6.3	0.14
耐久消費財	9.2	1.02

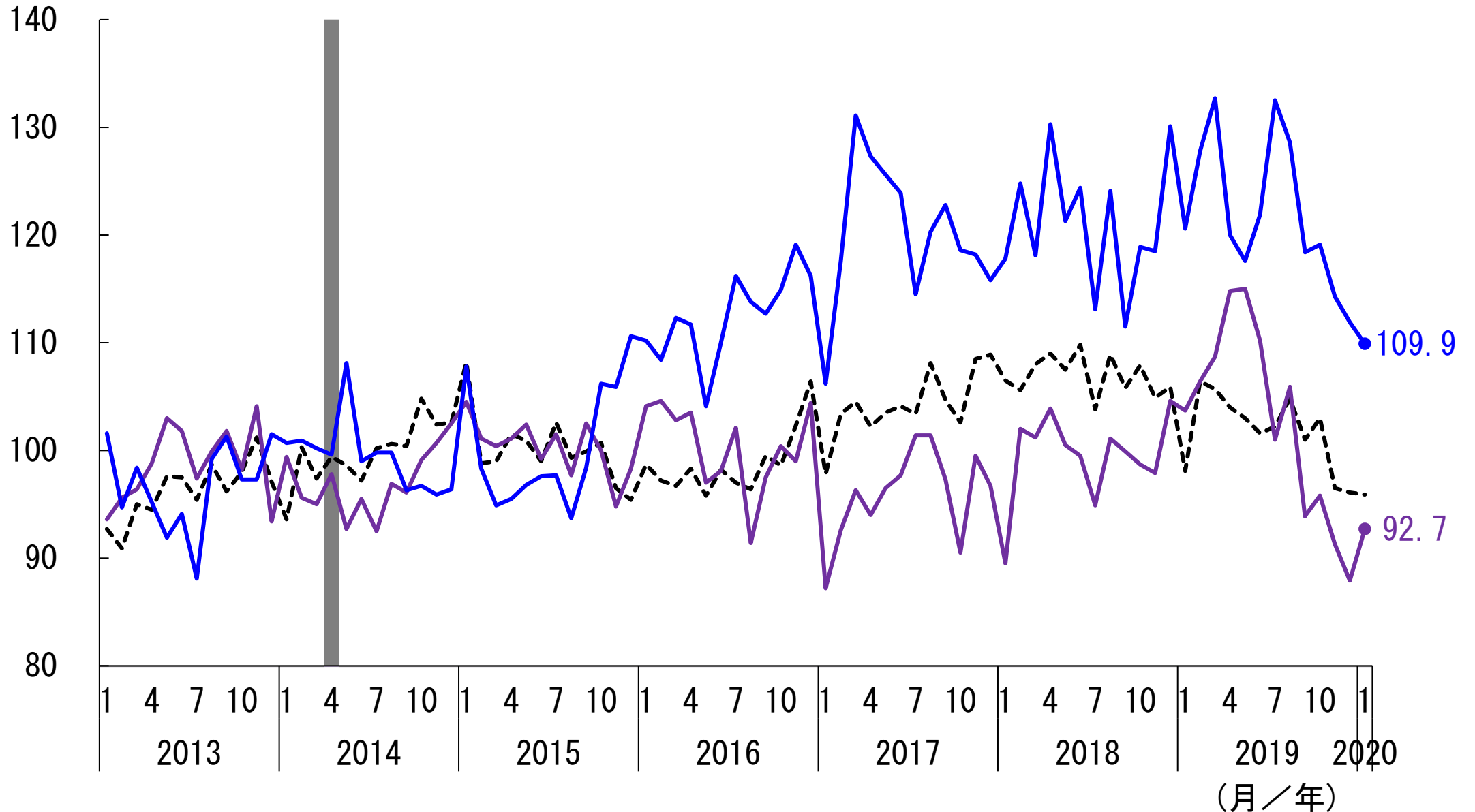
輸出向け財別出荷指数前月比の比較 (2019年12月、2020年1月)



欧米向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

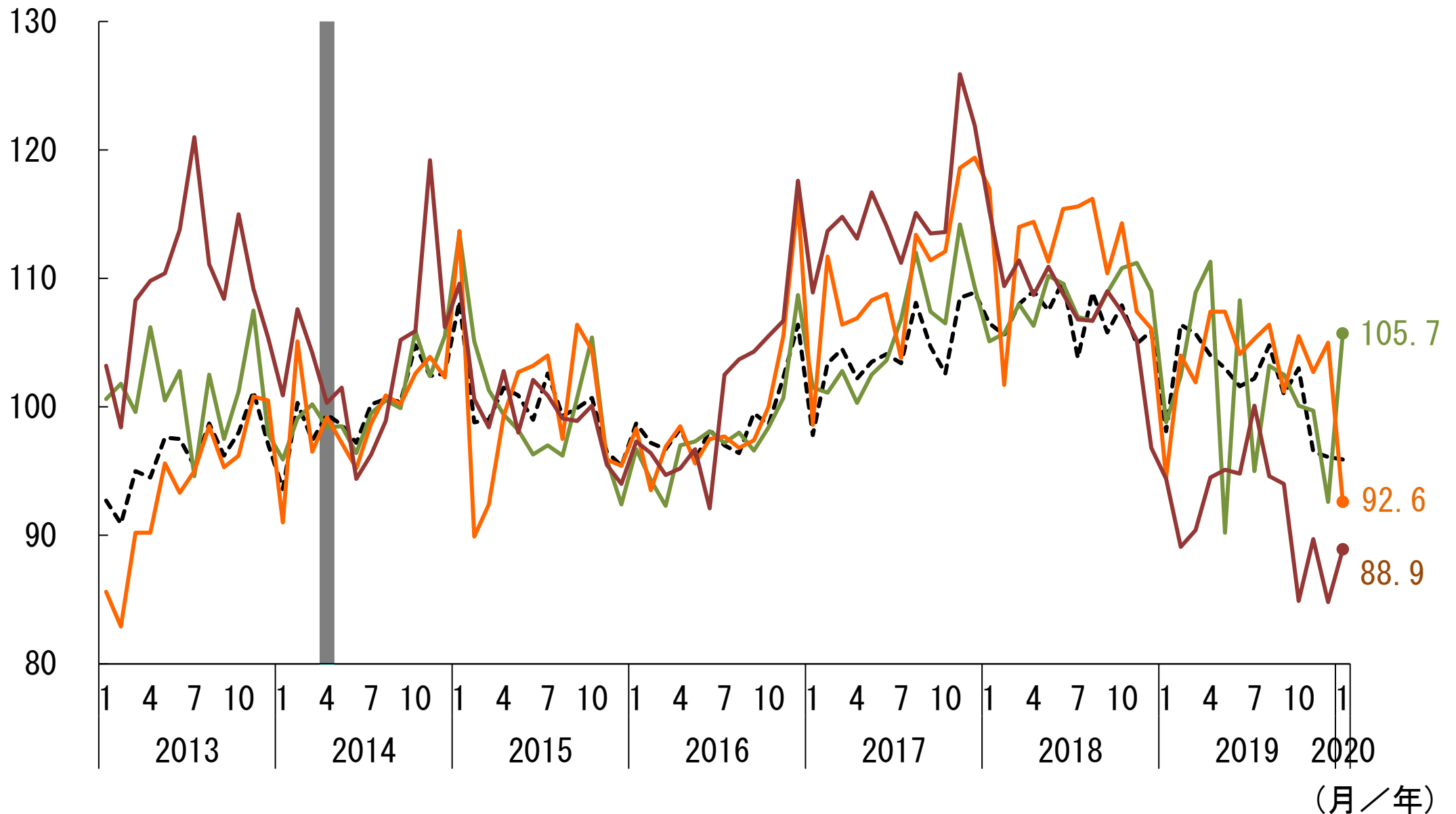
--- 輸出向け出荷 — 米国向け — 欧州向け



(注) 1. 貿易統計に基づく試算値
2. 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

アジア向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済) --- 輸出向け出荷 — ASEAN向け — 中国向け — 韓国向け

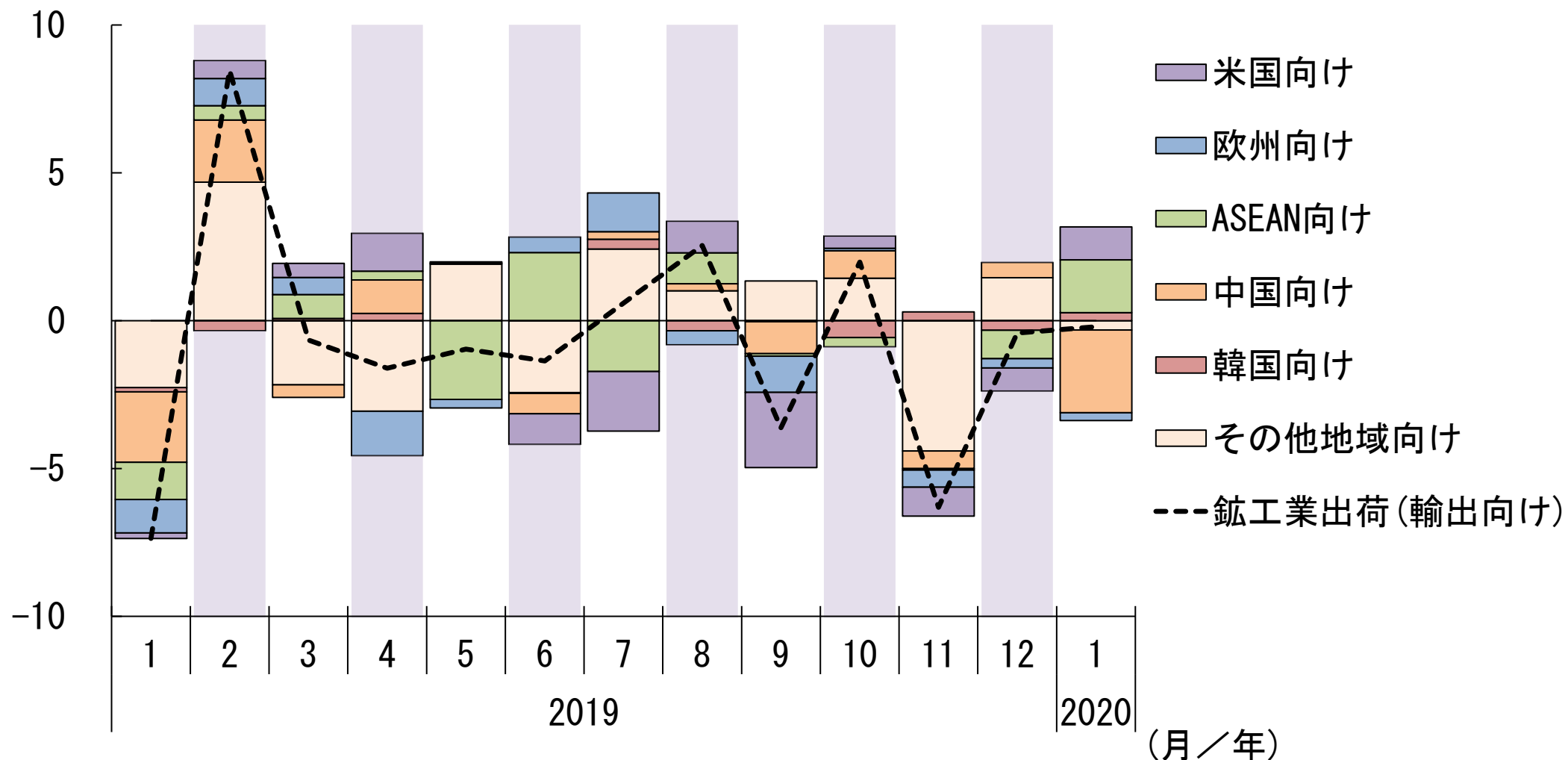


(注) 1. 貿易統計に基づく試算値
2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

輸出向け出荷前月比 地域別の影響度合い

・ 2020年1月の輸出向け出荷を、地域別にみると、ASEAN向けなどが上昇したものの、中国向けなどが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 貿易統計に基づく試算値

2020年1月の鉱工業総供給表の状況

総供給・国産品供給・輸入品供給

月次	総供給	国産	輸入
季調済指数 前月比	96.7 -1.2%	96.5 -0.8%	97.5 -1.5%
指数水準	2019.11 96.4以来 ①2019.11 96.4 ②2020.1 96.7 ③2013.1 96.9	2015年基準最低水準 ①2019.10, 2020.1 96.5 ②2019.11 96.6 ③2019.12 97.3	2019.11 94.8以来 ①2016.4 92.1 ②2019.11 94.8 ③2013.1, 2018.6 95.4
前月比の動き	2か月ぶりー (2019.11以来)	3か月ぶりー (2019.10以来)	2か月ぶりー (2019.11以来)
前月比幅	2019.11 -1.2%以来 (超)2019.10 -5.5%以来 ①2014.4 -8.2% ②2018.1 -5.9% ③2019.10 -5.5%	2019.10 -6.4%以来 ①2014.4 -7.7% ②2019.10 -6.4% ③2018.1 -5.8%	2019.11 -2.8%以来 ①2014.4 -10.5% ②2018.6 -8.7% ③2019.6 -8.0%

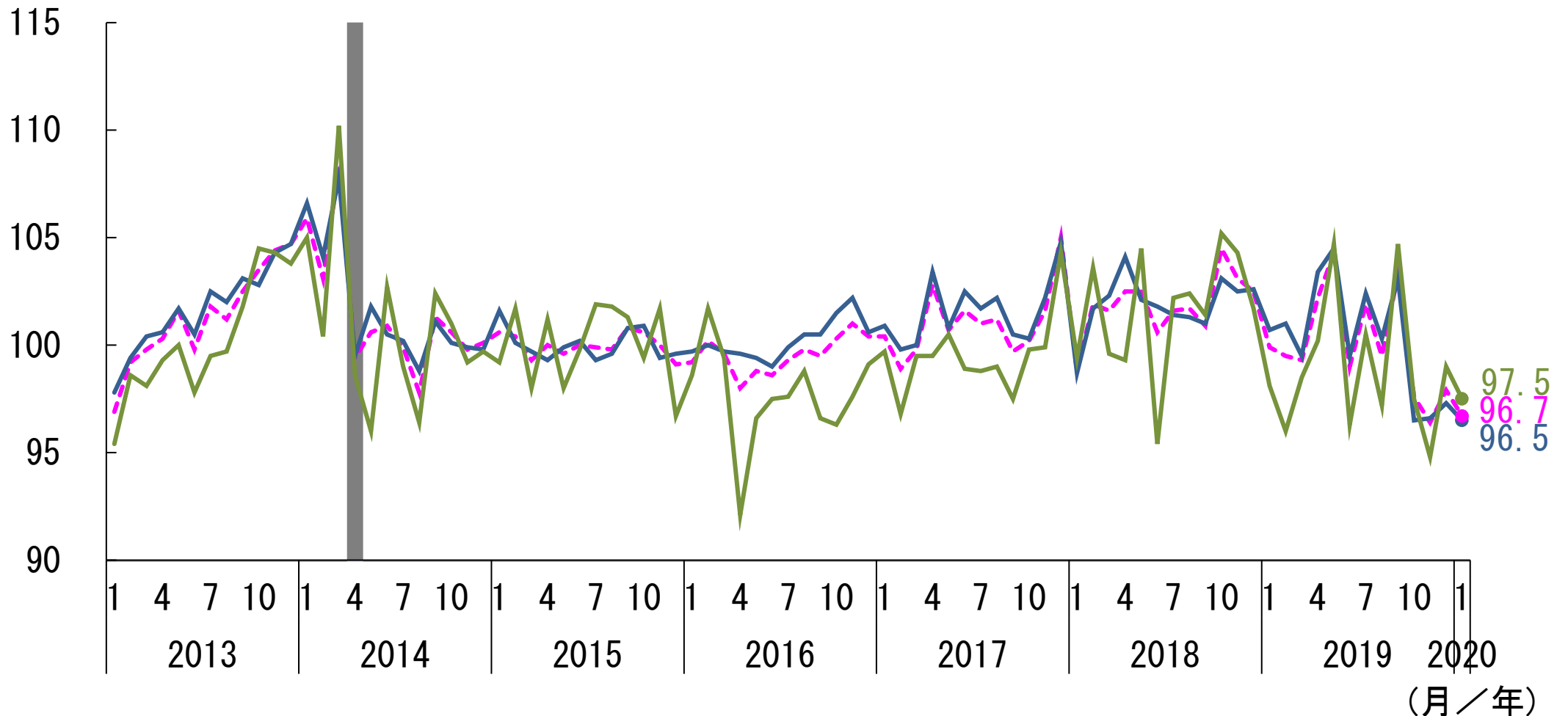
1) ①～③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

鉛工業総供給指数の動向

- ・2020年1月の鉛工業総供給指数は96.7(前月比-1.2%)と2か月ぶりの低下。
- ・内訳をみると、国産は96.5(前月比-0.8%)と3か月ぶりの低下、輸入は97.5(前月比-1.5%)と2か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

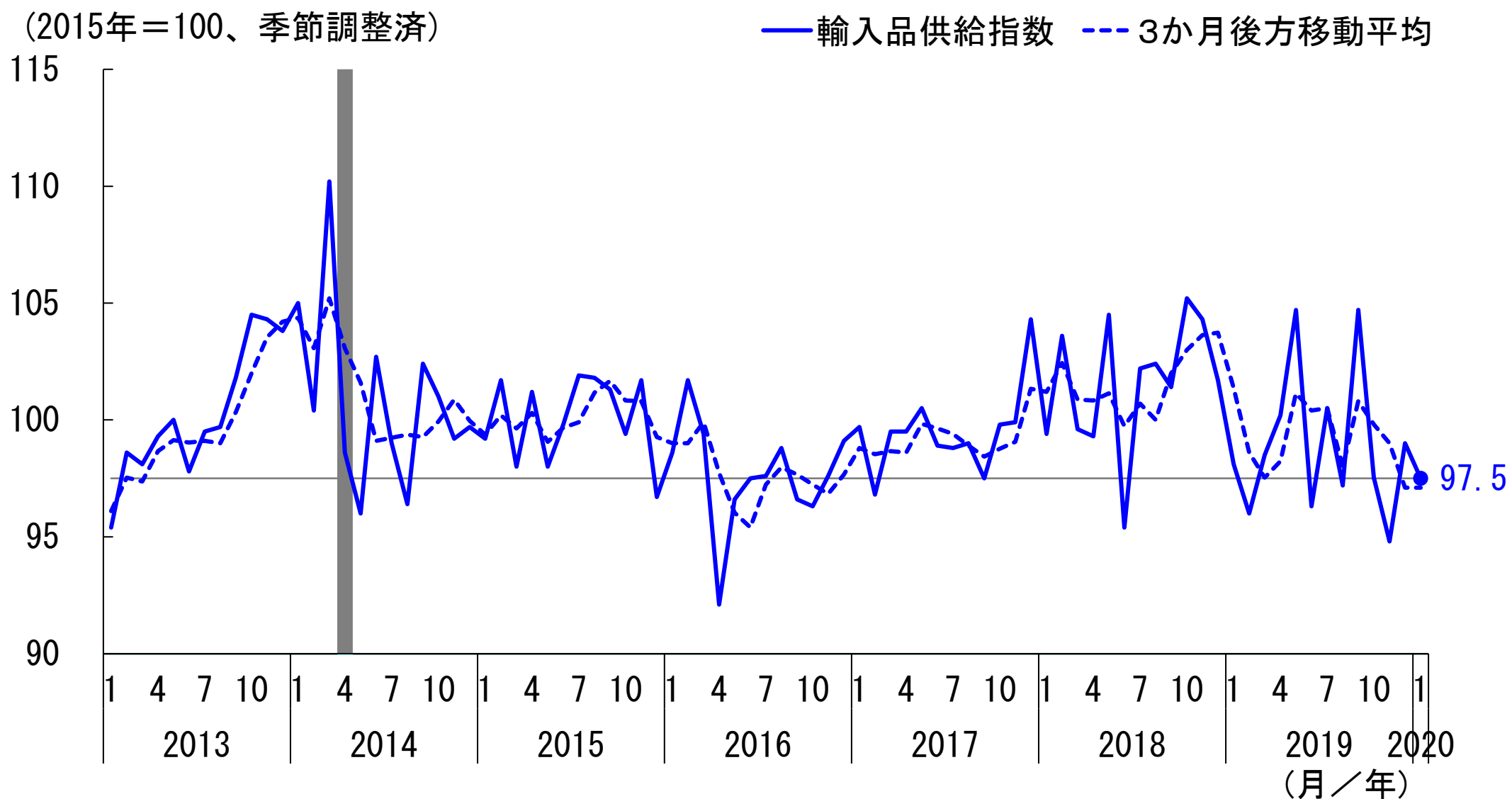
--- 鉛工業総供給 — 国産 — 輸入



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

輸入品供給指数の動向

・ 2020年1月の輸入品供給指数は97.5(前月比-1.5%)と2か月ぶりの低下。



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。